

## 重箱獅子が舞を披露

三郷町野井地区の武並神社で、10月12日に例大祭が行われ、市有形民俗文化財に指定されている「重箱獅子」の舞が奉納されました。この重箱獅子は、和紙の箱を漆で固めて作られた二頭の獅子頭で、ことしは雄獅子を市川皓己さん、雌獅子を木亦穂高さんが舞を披露しました。三郷町では、戦国時代に徳川家康が武田勢との戦いに敗れ、祭りの中に逃げ込み、重箱を頭に載せて獅子舞のまねをして敵から逃れたとの伝説が、今も語り継がれています。



竹笛と太鼓に合わせて舞を披露する二頭の重箱獅子

## 地域の大切な足を考える

明知鉄道の厳しい経営の現状と、鉄道を継続していくための将来像などについて考える第2回明知鉄道シンポジウムが、10月12日に岩村公民館で開催され、約130人が参加しました。「明知鉄道とまちづくり」と題した基調講演で、JR東海の須田寛相談役は「沿線には観光資源がそろっていて、観光としての活用で大きな可能性がある」「駅周辺に人の集まる施設を集めるなど、まちづくりに明知鉄道を明確に位置付けるべき」と述べられました。



基調講演をするJR東海の須田寛相談役

## 大井町が内閣総理大臣賞



恵那警察署で表彰状を披露する関係者

大井町まちづくり協議会防犯部会の地域防犯パトロール隊（大井守男隊長）が、10月10日、内閣総理大臣官邸で、平成20年安全・安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰を受賞しました。

これは、見通しの悪い箇所の草刈りなど防犯に向けた環境改善作業や、防犯灯の設置、地域を挙げての防犯パトロール活動など、大井町地域自治区の活動が高く評価されたものです。

16日、その喜びを恵那警察署に報告しました。

## 八王子神社で献幣祭



境内で奉納太鼓を披露する子ども連の余興団

10月11日と12日の2日間、金幣社八王子神社（明智町宮町）で献幣祭が行われました。明智町では毎年、秋祭りとして子どもから大人まで、町内3地区の「宮本組」「若一組」「桔梗連」が、みこしと太鼓を備え付けた「やたい」を作成。祭りの2日間、男性は法被姿、女性は「かるさん」姿で町内を巡り、2日目には八王子神社境内（社殿は県文化財指定）で奉納の手踊りと明智太鼓（市文化財指定）を奉納し、訪れた人の目を楽しませています。

## 剣を両手に勇壮に舞う

10月5日、笠置町毛呂窪蘇原神社大祭で市無形民俗文化財に指定されている剣の舞が奉納されました。剣の舞は、男性1人が笛と太鼓に合わせ、獅子頭をかぶり、クライマックスでは剣2本を両手に持ち、勇壮に舞います。

この日はあいにくの雨のため、直会殿で行われました。舞手を務めたのは逸見直樹さん（笠置町毛呂窪）。その洗練された動きと、勇壮な舞に、訪れた約400人の見物客は雨をも忘れ見入っていました。



2本の剣を持ち勇壮に舞う剣の舞

## いにしえの美しい音色

中山道ひし屋資料館で、10月6日、田中旭泉さんによる秋月の宵「筑前琵琶演奏会」が開催され、約120人の観客が訪れました。演奏した曲目は、平家物語を題材にした3曲と、源氏物語に登場する光源氏と夕顔の出会いを歌った「夕顔」の4曲です。

また、この日は、大井町在住の琴奏者古山雅静さんとの協演もあり、ひし屋の古いたたずまいに響き渡る琵琶と琴の音色は、聞き入る観客をいにしえの時代へといざないました。



琴奏者の古山さん（左）と琵琶奏者の田中さん（右）

## 楽しい木登り体験講座



ツリークライミング®を楽しむ子どもたち

えなの山林学校では、山林所有者や普段、森林とのかかわりの少ない市民に、イベントや講座などを通して森林の大切さを伝えることで「次世代につなげる森林づくり」を推進しています。

9月28日、森林の大切さや楽しさを知ってもらうため、応募のあった小学生25人を対象に、市立恵那病院裏の雑木林で、ツリークライミング®体験講座を実施。参加した子どもたちは「怖かったけど楽しかった」など、うれしそうに話していました。

## 時代絵巻の神輿渡御行列



重要伝統的建造物群保存地区の本通りをめぐる行列

岩村町本通りで、10月4日と5日に古式豊かな衣装による「神輿渡御行列」が、総勢約300人により繰り広げられました。この数百メートルにも及ぶ行列は県重要無形民俗文化財で、岩村町の八幡神社と武並神社を結ぶ、親子の対面をテーマとした祭り。氏子による行列のほか、岩村小学生の参加で、1年生は花車・花馬・御神馬を引き、6年生が御宝剣・五行弊を奉持しました。祭りの当日は多くの見物客が雅楽の鳴り響く中、行列に見入っていました。



中山道広重美術館  
特別企画展

広重没後150年記念・東海道広重美術館姉妹館提携記念

### 『広重と北斎の東海道』展



歌川広重  
『東海道五十三次之内  
京 三條大橋之図(行書版)』  
間判錦絵 田中コレクション  
1842(天保13)年ころ

**会期**  
10/2(木)～11/30(日)  
前期:10/2(木)～11/3(月)  
後期:11/6(木)～11/30(日)  
展示替えを行います  
**開館時間** 午前9時半  
～午後5時(入館は午後4  
時半まで)  
**観覧料**▷大人=800円  
(団体650円)▷小・中・高  
校生=500円(団体400円)  
毎週月曜日(祝日を除く)、  
祝日の翌日(土日・祝日を除く)、  
11/4(火)～5(水)は展  
示替え、11/25(火)は祝翌日  
のため休館。  
**問い合わせ** 中山道広  
重美術館☎20-0522

江戸から126里6丁1間(約495.5<sup>km</sup>)の行程を経  
て、ようやく京に到着します。橋上をおはらめ、  
被衣姿の女たち、茶せん売りなど江戸では見られな  
い風俗の人物が行き交います。いかにも都といった  
情景が広がります。

会期中、前・後期を通じて本展を観覧された方に記念品  
をプレゼントします!(観覧チケットをお持ちください)

#### 11月2日は市民の日

毎月第1日曜日は「市民の  
日」とし、市民に限り観覧を無  
料としています。気軽に美術  
の世界に触れていただき、美  
術を中心とする文化活動やま  
ちづくり活動の拠点に活用い  
ただけるよう、願っています。

## 文化財を巡る

古代の恵那～二つの古代寺院(その1)  
飛鳥池遺跡出土木簡の衝撃

室町時代から戦国時代のこの地方は、岩村城や明知  
城で紹介したように、遠山氏の時代といっても過言で  
はありません。では、もっと古い奈良時代や平安時代  
はどうだったのでしょうか。

1997(平成9)年、奈良県明日香村の飛鳥池遺跡で  
出土した木簡(荷札)の一つに、この地方のみならず、  
日本の古代史研究上、重要な事柄が書かれていたこと  
が明らかになり、当時の新聞紙上ににぎわしました。  
その木簡の意味は次の通りです。

表=丁丑年(天武6年、西暦677年、7世紀後半)  
十二月に三野国(美濃国)刀支評(土岐郡)から次米  
である。

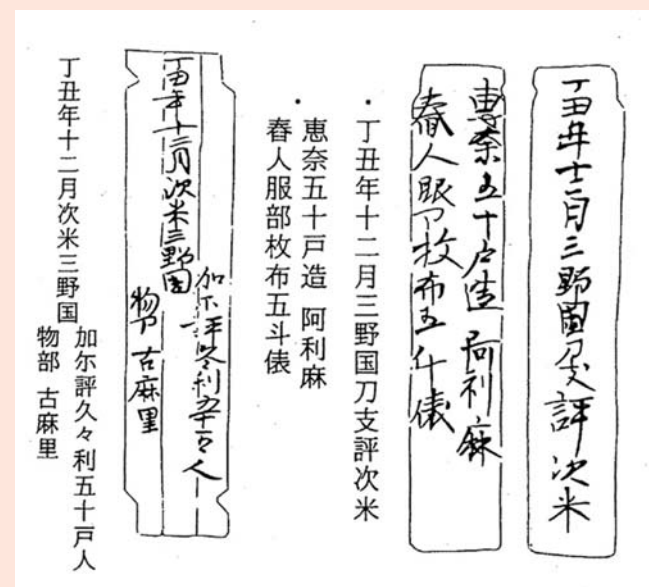
裏=このお米を送ったのは、恵奈五十戸造(里長)阿  
里麻。お米をついた人は服部枚布で、五斗俵に入れて  
運んだ。

また、もう1枚の木簡には、加尔評(可児郡)久々  
利の五十戸(里)の人 物部古麻里が同じようにお米  
を貢納したことが書かれています。

『日本書紀』に、天武6年11月に新嘗祭(天皇がそ  
の年に採れた新穀を神々に供え、自らも食す宮中の儀

式)を飛鳥浄御原宮で行ったことが出ていますので、  
その祭りに使う神聖なお米を恵那と可児の郷から運ん  
だときのものとしてされています(ただし、異論もあり)。

**問い合わせ** 文化課☎43-2112(内線217)



飛鳥池遺跡から出土した東濃関係の木簡

## 3日間焚き続けた登り窯

山岡陶業文化センターにある「登り窯」で、10月  
19日に登り窯フェアが開催されました。17日から窯  
焚きを始めた登り窯の中は、陶芸教室の生徒や地元  
の学校、保育園の子どもたちの作品約1,200点。  
登り窯フェアは、登り窯への護摩木の投入や、陶  
器のバザー、お茶会、金比羅太鼓の演奏などを行い、  
大人から子どもまで、楽しく参加できるイベントと  
なり、3日間の窯焚きボランティアを含め、約1,000  
人の参加者で、盛大ににぎわいました。



登り窯に木を投入する参加者

## 伝統の獅子芝居を奉納



地元青年団による悪魔払い

県の無形民俗文化財(民俗芸能)に指定されてい  
る山岡町下手向の獅子芝居が、10月12日、地元の白  
山比咩神社の祭礼で演じられ、奉納されました。こ  
のほか、御旅所にある芝居小屋でおかめに神主が  
からむユーモラスな芸の奉納や、悪魔払いなどが演  
じられ、約200人の見物客でにぎわいました。

また13日の昼間には、住民が長い列をつくって神  
社へ向かい、途中各所で獅子舞による悪魔払いが行  
われました。

## 歯の最優秀校に上矢作小

上矢作小学校(中島永至校長)は、全日本学校歯  
科保健最優秀校に輝き、10月16日、神奈川県横浜市  
で行われた第72回全国学校歯科保健研究大会で全日  
本学校歯科保健最優秀賞と文部科学大臣賞を受賞  
し、20日、その喜びを市長に報告しました。

同校では長年、歯と口の健康に取り組んでおり、  
小学校の保健委員が保育園に行き園児に歯磨き指導  
をするなど、学校を中心とした地域ぐるみの活動が  
高く評価されました。



横浜で行われた全国大会で表彰を受ける中島校長

## 約400人がスポーツに汗



黄色の円盤を得点枠に入れて競い合うシャッフルボード

山岡B&G海洋センターとその周辺で、10月13日、  
「08レクスポえなフェスティバル」が開催され、約  
400人の市民が参加しました。

これは、体育の日にちなみ、多くの市民に気軽に  
スポーツに親しんでもらい、体力と健康への意識を  
高めてもらおうと行われています。

会場では、ドッジボール交流会やアーチェリー体  
験、体力測定などもあり、参加者は汗をにじませな  
がら、大いにスポーツを楽しみました。